## レーベルエクスプレスと EXCEL ファイルのリンク手順

レーベルエクスプレスと EXCEL ファイルのリンク手順について説明します。 EXCEL ファイルは C: ¥winle¥Book1. xls を使用します。

<EXCEL ファイル内容>

数量 LOT		FMTCOUNT
5	10-001	0
3.5	10-001	0
10	10-002	0
20	10-003	2

- 1 EXCEL ファイルヘリンクする前準備として ODBC ドライバーを作成します。
  - 「スタート」→「コントロールパネル」→「管理ツール」→「データ ソース (ODBC)」
    を選択すると以下の画面が表示されます。



2 追加ボタンをクリックして以下の画面を表示して下さい。



- ③ 「Driver do Microsoft Excel(\*.xls)」を選択して「完了」ボタンをクリックします。
- ④ ③で完了ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。

ODBC Microsoft Ex	ccel セットアップ	? 🔀
データソース名(N):	TESTEXCEL	OK
記(D):		キャンセル
-データベース		
バージョン(V):	Excel 97-2000	
ブック:		
	ブックの選択( <u>S</u> )	
▶ 現在のフォルダを	使用する(山)	オプション(の)>>

- ⑤ データソース名に任意の名前を入力します。(今回は TESTEXCEL)
- ⑥ 「ブックの選択」をクリックして「C:¥winle¥Book1.xls」を選択して下さい。
- ⑦ 「OK」ボタンをクリックします。
- ⑧ TESTEXCEL が追加されているのが確認出来れば、「OK」ボタンをクリックして下さい。

🗿 ODBC データ ソース ア	ドミニストレータ	? 🛛
コーザー DSN システム DS	N ファイル DSN ドライバ トレース 接続プール	バージョン情報
ユーザー データソース(	_)):	
名前	ドライバ	追加( <u>D</u> )
dBASE Files Excel Files	Microsoft dBase Driver (*.dbf) Microsoft Excel Driver (*.xls)	削除(R)
MS Access Database TESTEXCEL	Microsoft Access Driver (*.mdb) Driver do Microsoft Excel(*.xls)	構成の
Visual FoxPro Database Visual FoxPro Tables	Microsoft Visual FoxPro Driver Microsoft Visual FoxPro Driver	1191074 500
	ニ データソースには指定されたデータ プロバイ	ダへの接続方法に
「「「「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「」、「」」、「」、「	格納されています。ユーザー データソースは現れ 見在使用しているコンピュータでのみ使用できます	
	OK キャンセル 適用(4	54LA

2 レーベルエクスプレスの編集画面を開き、リンクするフィールドのパラメータを表示 します。



- 5 「接続文字列」をクリックすると「プロンプト」ボタンが表示されるので、クリックしま す。
  - 7 ° データソース(S) D-デ<sup>\*</sup>ータハ<sup>\*</sup>ース デ<sup>\*</sup>ータハ<sup>\*</sup>ースシステム(D) 他のデータベースシステム 接続文字列(C) 7<sup>\*</sup>ロンフ<sup>\*</sup>(P)

6 1 で作成した ODBC ドライバーを選択して「OK」ボタンをクリックして下さい。

🗏 データリンク プロパティ 🛛 🔀
プロバイダ 接続 詳細設定 すべて
ODBC データに接続するために、次の項目に情報を入力します: 1. データ ソースを指定します: ◎ データ ソース名を使用する( <u>D</u> ):
● 更新(R) ● dBASE Files Excel Files MS Access Database TESTEVOE
2. サーノ <sup>Visual FoxPro Database</sup> 2. サーノ <sup>Visual FoxPro Tables</sup>
ユーザー名(N): パスワード(P):
🔲 バスワードを空にする(B) 🛛 🔲 バスワードを保存する( <u>S</u> )
3. 使用する初期力タログを入力します Φ:
<b>_</b>
接続のテスト(工)
OK キャンセル ヘルプ

7 「テーブルの名前」でシートを選択します。

デ <sup>、</sup> ータソース( <u>S</u> )	D-テ <sup>*</sup> ータヘ <sup>*</sup> ース
データベースシステム( <u>D</u> )	他のデータベースシステム
接続文字列( <u>C</u> )	Provider=MSDASQL1;Persist Security Info=Fals
可変テーフル	N(L)(1Ž)
テーブルの名前(工)	
検索フィールド( <u>S</u> )	Sheet1\$ Sheet2\$
検索フィールド名( <u>S</u> )	Sheet3\$

8 検索キーにするフィールドを選択します。

テ <sup>ヽ</sup> ータソース( <u>S</u> )	D-テ <sup>ヘ</sup> ータヘ <sup>ヘ</sup> ース
データベースシステム( <u>D</u> )	他のデータベースシステム
接続文字列( <u>C</u> )	Provider=MSDASQL1;Persist Se
可変テーフル	N(いいえ)
テーブルの名前(①	Sheet1\$
検索フィールド(≦)	1
検索フィールド名( <u>S</u> )	LOT
オペレータへの指示行( <u>O</u> )	数量
データフィールト*名(D)	FMTCOUNT

9 「オペレータの指示行」で任意の説明文を入力して下さい。

データソース(S)	D-データヘ <sup>ヘ</sup> ース
データベースシステム( <u>D</u> )	他のデータベースシステム
接続文字列(C)	Provider=MSDASQL.1;Persist Security Info=Fals
可変テーフル	N(L)(12)
テーブルの名前(工)	Sheet1\$
検索フィールド( <u>S</u> )	1
検索フィールド名( <u>S</u> )	LOT
オペレータへの指示行(Q)	LOTを選択して下さい。

10「データフィールド名」にリンクするフィールドを選択して下さい。

データソース( <u>S</u> )	D−テ°−タヘ°−ス
データベースシステム( <u>D</u> )	他のデータベースシステム
接続文字列( <u>C</u> )	Provider=MSDASQL1;Persist Security Info=Fals
可変テーフル	N(L)(1Ž)
テーブルの名前(工)	Sheet1\$
検索フィールド( <u>S</u> )	1
検索フィールド名(≦)	LOT
オペレータへの指示行(0)	LOTを選択して下さい。
データフィールド名( <u>D</u> )	I
最大フィールド長( <u>M</u> )	数量 LOT
標準フィールド長(①)	FMTCOUNT

11「標準フィールド長」に桁数を入力します。ここに入力した数値分、画面上に「?」が 表示されます。(実際の印字には「?」は印字されません)

最大フィールド長( <u>M</u> ) 0
標準フィールド長(工) 🛛 📲
 [フォーマット上の表示]
????

<印刷手順について>

1. Label Express のフォーマットを開き、左上のアイコン列にある「ラベル、タグの印字 (Ctrl-P)」ボタンを押します。

2. コンボボックスが空白のまま OK を押します。

LOTを選択してください。	

3. 「印字要求」の画面が表示されますので、そのまま「印刷」ボタンを押します。

🛄 印字要求	×
7ォーマット名	KSW-1500Plus_検証001
ロピー数( <u>B</u> )	
WHERE文( <u>W</u> )	
印字順番指定(0)	
二重印字(D)	N(い()え)
フツンタ番号( <u>P</u> )	1 - KSW-1500 (COM1)
代替フツンタ( <u>A</u> )	N - N(無し)
カッターの選択( <u>C</u> )	0 - カットなし
ジョブ待機( <u>日</u> )	N(い()え)
備考( <u>D</u> )	
F	同一ラベルの印字枚数を入力して下さい。
Ľ	
	OK 取り消し

4. 「FMTCOUNT」で数値を入れたデータのみ印字されます。